

## Interview インタビュー

真夏の試合を最後まであきらめず戦い、  
全国で戦えるチームを目指します



松田光弘監督

11年ぶりの出場なので、初出場と同じ気持ちで挑みます。持ち味の攻撃力が全国でも発揮できれば、チームの勢いも出てくるはず。冬の選手権に向け、真夏の真剣勝負を最後まで戦い抜くことで、精神的にも体力的にも強くなって全国で戦えるチームに成長したいと思います。

夏・冬どちらも勝てるチームを目指し、  
全国のレベルを意識して頑張ります



吉田史玖主将

インターハイでは、自分たちの持ち味である攻撃力を生かしたサッカーで流れをつくり、頑張ります。昨年、全国に行けなかった悔しさがあるので、今年は夏も、冬も全国で勝てるチームを目指して、常に全国のレベルを意識して取り組んでいきたいと思っています。



## Scene-03 サッカー Soccer

■県高総体 (6月5日～8日、盛岡南公園球技場ほか)  
1回戦 9-0 宮古高  
2回戦 4-0 盛岡四高  
準々決勝 2-0 江南義塾高  
準決勝 3-0 盛岡市立高  
決勝 4-3 盛岡商高

# 遠野高校サッカー部

吉田史玖主将 部員85人 (11年ぶり24回目出場)

【写真提供】遠野高校報道委員会

戦まで勝ち上がった。ライバル盛岡商との決勝戦でも、前半10分のMF村上涼亮君のゴールを皮切りに、11分にはFW高橋明日翔君、12分にはFW赤塚京介君がゴールを決め、わずかに3分間で3点を奪う猛攻でゲームの主導権を握った。1点差まで詰め寄り、果敢に追いつがる盛岡商を、後半ロスタイムにMF山本恭平君がゴールを決め、勝利を決定づけた。

6月19日から22日まで山形県を会場に開催された東北高校サッカー選手権では、1回戦で学法石川高校(福島第3代表)を4対1で下すと、2回戦では17歳以下の日本代表候補選手を擁する全国の常連、青森山田高校(青森第一代表)と対戦した。インターハイでの戦い方を想定し、強豪相手に守りに入らず前線へどんどん走り込ませる攻撃的サッカーを試す作戦に出た。ある程度の失点は覚悟していたものの、持ち味の攻撃力も封じられ、1対8で敗戦。GKとDFの連携など、自陣に攻め込まれたときのゴール前での対応に課題が残った。「東北大会では、県大会のように自分たちのサッカーができませんでした。インターハイまでには攻撃力に磨きをかけながら、課題の守備力も修正しなければいけない」と試

「インターハイでは一戦一戦を全力で戦い、全国との実力差を肌で感じ、自分たちの課題を再確認してきた」と抱負を語る松田光弘監督。

遠野高校サッカー部は、6月8日に盛岡南公園球技場で行われた県高総体決勝でライバル盛岡商業高校を下し、11年ぶり24回目のインターハイ出場を決めた。しかし、目標に見据えているのはあくまで冬の全国選手権大会。集大成の冬に向け、さらなるレベルアップを求め、夏の大舞台へ挑む。

部員85人の大所帯のチームを束ねるのは、一昨年の全国選手権ベスト8を一年生ながら選手として経験した吉田史玖主将。「昨年は、目標としていた全国

### ◎東北大会登録メンバー 背番号 / ポジション / 氏名 / 学年 / 出身中学

- ① GK 山崎琢真 (3年、遠野中)
- ② DF 板澤優介 (3年、釜石中)
- ③ DF 川原峻 (3年、岩泉中)
- ④ DF 築場豪史 (2年、七戸中)
- ⑤ DF 菊池元太 (3年、江釣子中)
- ⑥ MF 吉田史玖 (3年、南城中)
- ⑦ MF 滝田雄太 (3年、花巻中)
- ⑧ MF 村上涼亮 (3年、大船渡中)
- ⑨ FW 赤塚京介 (3年、遠野中)
- ⑩ FW 高橋明日翔 (3年、見前中)
- ⑪ MF 山本恭平 (2年、桜町中)
- ⑫ MF 菊池琢宗 (3年、遠野中)
- ⑬ DF 姫野翔麻 (3年、岩泉中)
- ⑭ FW 石花優汰 (2年、久慈中)
- ⑮ MF 藤丸翔太 (2年、見前中)
- ⑯ MF 菊池学 (1年、江釣子中)
- ⑰ GK 佐々木和也 (3年、花巻中)
- ⑱ DF 神田祐次 (3年、江刺一中)
- ⑲ FW 大橋拓磨 (3年、遠野中)
- ⑳ DF 照井康司 (3年、花巻中)

合を振り返る吉田主将。全国各地の代表校が集い、真剣勝負を繰り広げる真夏のインターハイ。この時期に全国のレベルを体感できるのは、冬の全国選手権に向け大きなメリットとなるのは間違いない。

「インターハイでは、高橋と山本のドリブルでいかに相手守備陣を崩せるかが鍵となる。今のチームなら、点を取れば勢いが出てくる」と松田監督。

吉田主将も「インターハイでは相手に対応するのではなく、自分たちの攻撃力で試合の流れをつくりたい」と意気込む。

サッカー競技は8月2日から8日まで、奈良県立橿原公苑陸上競技場などを会場に開催される。真夏の奈良の地で伝統の粘り強さを発揮するべく、今日も厳しい練習に励む。



冬の全国高校サッカー選手権大会を見据え、チーム一丸でインターハイに挑む遠野イレブン